

保健体育講座 高橋 豪仁 教授



スポーツでまちづくり (スポーツを通じた地域の活性化)

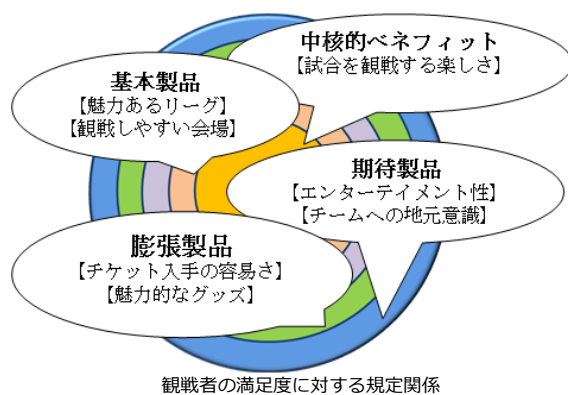


キーワード スポーツ文化/ 公共性/ 地域活性化/ 応援/

どのような研究をなぜ行っているか

スポーツはするだけでなく、見ることを通して、人びとに楽しさや喜びを与えてくれます。1993年のJリーグ開幕以降、地域密着型のプロスポーツチームが増加し、現在では殆どの都道府県に、プロスポーツチームが存在しています。地域密着型のプロスポーツは、いかにして地域社会のシステムの中に組み込まれ、地域活性化という社会的機能を果たしているのかを研究しています。スポーツによって、活力があり絆が強い社会を実現しましょう。

右記は、「バンビシャス奈良」(Bリーグ)のホームゲーム観戦者(n=376)を対象とした質問紙調査に基づくものです。観戦者の満足度を規定する要因は「チームへ投影する地元意識」と、「試合を観戦する楽しさ」というスポーツの中核的ベネフィットであることが分かります。



観戦者の満足度に対する規定関係

	β
エンターテインメント性	0.00
チームへの地元意識	0.47***
試合を観戦する楽しさ	0.29***
魅力あるリーグ	0.04
観戦しやすい会場	0.12
チケットの入手の容易さ	-0.09
魅力あるグッズ	0.03
R^2	0.56***

β : 標準偏回帰係数

*: $p < .05$, **: $p < .01$, ***: $p < .001$

研究成果をどのように活用し、どのような貢献ができるか

スポーツ観戦やスポーツ応援に関する研究成果を活用し、地域活性化に結びつくためのスポーツイベント実施に関する提言をすることができます。また、こうした実践的な貢献だけでなく、スポーツ文化の魅力や、現在のスポーツの課題を明らかにし、その成果を公開講座等で広く社会に発信することによって、スポーツの文化的な価値を高めることに貢献したいと思えます。

また、子どものボール運動プログラムについての実践的研究を実施しており、NPO法人バルシューレジャパンを通して指導者養成事業を実施しています。 <https://ballschule-japan.com/>

これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- ・奈良市スポーツ推進審議会委員 (委員長) 2012年7月～
- ・奈良市指定管理者選定委員会委員 2021年1月、2020年12月、2020年1月 等
- ・奈良市スポーツ推進計画策定委員会委員 (副委員長) 2012年9月-2013年3月
- ・NPO法人バルシューレジャパン 理事長 2009年8月～
- ・日本体育協会公認スポーツ指導者養成講習会 講師 2010年～2018年
- ・スポーツ観戦者調査 (松本山雅FC 2018年、奈良クラブ 2017年、バンビシャス奈良 2013年、大阪エヴェッサ 2007年、オリックス野球クラブ株式会社 1998年-2005年)
- ・「日本における地方自治体のスポーツ政策 (日本地方政府的運動政策)」
台湾師範大学体育学系における招待講演 2014年10月

